R5年度　佐賀大学教育学部附属中学校　第三学年　単元配列表

月	4月			5月			6月			7月			8月		
前週／中間／後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週
国語		現代倫句と比べる「倫句の読み方、味わい方」		引用して意見文を書く「論語」		スピーチを評価する「評価しながら聞こう」	文章の展開を考える「絶滅の意味」		書写	ビブリオバトル「読書への招待」		夏季課題			
思考操作		比較する　関連付ける		関連付ける		比較する	関連付ける		比較する	関連付ける		具体化・抽象化する			
質賞・能力		句中の言葉同士に着目し、比較した上で、関連付けたりすることを通して、表現の仕方を評価することができる。		古人の言葉と自分の考えや経験の共通点や相違点に着目し、それらを関連付け、古人の言葉を引用しながら、分かりやすいよう意見文を書くことができる。		それぞれのスピーチの内容に着目し、比較しながら、自分の考えをまとめることができる。	論展開に着目し、段落と段落を関連付けて、展開の仕方を読み取ることができる。段落と段落の関係を関連付けて、構成や展開を工夫して書くことができる。		意味や効果の違いに着目し、比較することを通して、自分の表現に適した心の言葉を選ぶことができる。	スピーチ原稿の構成に着目し、段落と段落を関連付けて、構成を工夫して話すことができる。					
社会		二度の世界大戦と日本			現代の日本と世界			現代社会と文化		日本国憲法		夏季課題		民主政治と私たち	
思考操作		多面的・多角的に見る		関連付ける			多面的・多角的に見る			具体化する		具体化・抽象化する		比較する	
質賞・能力		二度の世界大戦が起きた経緯について、「政治」「経済」「外交」「文化」といった複数の視点に着目して捉え、前の時代から続く帝国主義の社会情勢などを踏まえて多面的・多角的に考察し、表現することができる。		第二次世界大戦（アジア・太平洋戦争）について、戦後補償や北方領土問題、日韓・日中関係などの日本と他国との関係性に着目して捉え、戦争の終わりとは何かということを第二次世界大戦（アジア・太平洋戦争）と関連付けて考察し、具体的に表現することができる。			現代日本社会の特色である少子高齢化・情報化・グローバル化について、「政治」「経済」「外交」といった複数の視点に着目して捉え、歴史的分野・地理的分野の学び と関付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。			日本国憲法の解釈を巡りながら、現代社会に見られる課題について、「個人の尊重」「法の支配」「民主主義」「多様性」といった複数の視点に着目して捉え、日本国憲法の原理を多面的・多角的に考察し、課題づくり型学習として具体的に表現することができる。			よりよい民主政治の在り方について、「効率と公正」「個人の尊重」「法の支配」「民主主義」といった複数の視点に着目して捉え、現在の日本の政治を通去の日本の政治制度や他国の政治制度と比較することなどして多面的・多角的に考察し、表現することができる。		
数学		式の展開と因数分解			平方根			二次方程式			夏季課題			二次方程式	
思考操作		多面的・多角的にみる　推論する			具体化・抽象化する　推論する			多面的・多角的にみる			順序付ける			具体化・抽象化する　関連付ける	
質賞・能力		道幅が一定の図形について、道幅、面積、道のまん中を通る線の長さなど多角的な視点に着目して捉え、その関係性を式化するとともに、図形を変えながらさらに広い範囲で適用することができる。			コピー用紙について、縦や横の長さ、面積及び用紙の生産性向上の視点に着目して捉え、抽象的に考察することによって、規定サイズのメリットを図・式・表などを用いて筋道を立てて説明することができる。			長方形の縦と横の長さについて、周の長さと面積に着目して捉え、図や式などを使って多面的に考察することによって、問題の解決方法の多様性を理解することができる。			日常生活や社会で感じた疑問を数学の力を活用して解決したり、数学の学びを発展させて新たな数理的課題を探究したりする中で、気づいたことやわかったこと、自らの解決の方法などをレポートにまとめる。			動く点の問題について、面積が変化する三角形の様子を図形化し考察することによって、変域をもとに場合分けをしながら解を吟味することができる。		
理科		「力の合成・分解」	「水中の物体に加わる力」	「物体の運動」		「仕事とエネルギー」				「生物の成長と増え方」		夏季課題		「遺伝の規則性と遺伝子」	「生物の種類の多様性と進化」
思考操作		関連付ける		比較する　推論する	推論する　構造化する		関連付ける　構造化する			比較する　分類する		具体化する・抽象化する		関連づける　構造化する	分類する　推論する
質賞・能力		力の合成や分解について、合力や分力の大きさを図や公式を駆使し、2つはえ力の関係性を同定し、日常における現象との関係性を関連づけることで、効率の良い力の使い方を説明できる。		物体の運動について、斜面や水平面の運動の速さや向きの大きさを測定し、グラフなどをとって、運動と力の関係性に着目し、その関係性を構造化し、運動とその関係について説明や文章で表現することができる。		仕事とエネルギーについて、仕事の原理やエネルギーの大きさを調べる実験を通して、力とエネルギーの関係性に着目し、エネルギーが保存される現象性を見出すことで、さまざまなエネルギーの関連性を構造化し、日常生活や自然において、効率的にエネルギーを活用したり、エネルギーの大切さについて説明することができる。			生物の成長と増え方について、根の成長点や花粉管の発育を通して、生物の共通性と多様性に着目し、生物の共通性と多様性を構造化し、日常生活や自然において、効率的にエネルギーを活用したり、エネルギーの大切さについて説明することができる。			地形が形成されるまでについて、「自然界を循環する物質」「水溶液とイオン」を関連付けながら、地形の特徴を比較し、生物が地形に与える影響や、地形が生物に与える影響について、「自然界を循環する物質」「水溶液とイオン」を関連付けながら、地形の特徴を比較し、生物が地形に与える影響や、地形が生物に与える影響について、「自然界を循環する物質」「水溶液とイオン」を関連付けながら、地形の特徴を比較し、生物が地形に与える影響や、地形が生物に与える影響について、		生物どうしのつながりについて、生産者と消費者の共通性と多様性に着目し、有機物が原動する様子を捉え、自然界の生物のつながりで構造化することで、生物の今り合いについて説明できる。		「化学変化と電池」		化学変化と電池について、イオンの場所を調べる実験を行い、イオンへのなりやすさと電子とイオンの関係をイオンモデルで実体的に捉え、イオンの変化を構造化し、電気エネルギーを取り出す方法を推論できる。		「雨・アルカリとイオン」		「天体の動き」
英語		Unit 0 クイズ形式のレポートを作成しよう	Unit 1 おもてなしプランを作成しよう		Unit 2 私の「〇〇歴」を公開しよう			Unit 3 絶滅危惧種の動物について記事を書こう			夏季課題			Unit 4 いざというとき役立つ標識	
思考操作		関連付ける・構造化する	関連付ける・構造化する　具体化する　比較する		関連付ける・構造化する　具体化する　抽象化する			関連付ける・構造化する　推論する			具体化・抽象化する			具体化・抽象化する　多面的・多角的に見る	
質賞・能力		クラスの中でけってあたし国とをこうけまれいと友達についてを語り場面において、現在の天気・暮らし方・ふるさとの中学校とをもとの英語表現に着目し、ひきたいを表現機にして話すことができる。		日本に潜在中の英語人に日本語について伝え合う場面において、コミュニケーションの目的や共有する情報に着目し、自分の好きなことや取り組んできたこと等の情報を瞬時に整理しながら伝えることができる。				世界に向け日本の絶滅危惧種を発信する場面において、語彙や表現の選択、社会への貢献・参画意識に着目し、具体的な個体数や原因を明らかにしながら自分なりの解決策を記事にして書き、分かりやすく発表することができる。						日本に住む外国人に日本の災害やその急険を伝える標識について説明する場面において、実社会・実生活とのつながりや社会への貢献・参画意識に着目し、情報の重要度を順位付けしながら説明することができる。		
TRAIN (E-Time)		E-Time① 修学旅行			E-Time② SDGs講演会		E-Time③ 大学生の話を聞いてみよう					E-Time④ 大学の先生と交流			
TRAIN (B-Time)															
TRAIN (C-Time)			卒業研究オリエンテーション	C-Time① 研究テーマを決める			C-Time② リサーチクエスチョン決定する		C-Time③ 仮説を立てる		C-Time④ 研究方法を考える		C-Time⑤(夏期課題) 調査・実験を実施する		
思考操作				関連付ける　具体化する			分類する		関連付ける・構造化する　推論する		関連付ける・構造化する　推論する		具体化する		
質賞・能力				世界の諸課題と現在の自分の興味・関心や将来の進路を関連付け、キーワードをもとに情報を集めたり、思考ツールを用いて研究テーマに関する知識を広げたり、整理したりしながら、自分の研究のイメージを具体化し、解決（または部分的な解決）の見通しをもつことのできる適切な課題を設定すること。			研究テーマに関する「問い」をこれまでの学術分野の先行研究・事例や対象や地域、状況など多面的・多角的な視点から検証し分類し、リサーチクエスチョンを発展させ、自分の研究の意義や今後の研究の進筋を過去２年間の研究の経験から推論して見通すこと。		先行研究・事例等を関連付けたリサーチクエスチョンに対する複数の仮説を立てて、自分の研究を構造化し、仮説を検証するための適切な方法を、検証結果を推論して導き出すこと。		リサーチクエスチョンに対する仮説を立証するために必要な情報と関連付けた調査・実験方法を、必要に応じて多面的・多角的に選ぶこと。また、複数の調査・実験方法を仮説と関連付けて構造化すること。		リサーチクエスチョンに対する答えを導くための調査・実験を行い、収集した情報を種類に応じてファイルやICTで具体化して蓄積すること。			
特別活動		「学校行事　修学旅行」		「学級活動　大運動会を成功させよう」「学校行事　大運動会」			「学級活動　進路選択の準備をしよう」		「学級活動　１学期を振り返って」		夏季課題			「学級活動　文化発表会・合唱コンクールを成功させよう」	
思考操作		多面的・多角的に見る		関連付ける			多面的に見る		多面的に見る		具体化・抽象化する			関連付ける	
質賞・能力		集団生活の在り方や公衆道徳を学校生活と関連付けたり、現地の歴史や文化について多面的に考えることができる。		集団活動の意義や価値を、学校生活と関連づけて理解し、最上級生として集団行動のリーダーシップを取ることができる。			将来についての長期的な目標と、高校選択などの短期的な目標を関連付け、自分自身の進路について多面的に考え、計画実現に向けた計画を考えることができる。		1学期の生活や活動を振り返って、自分自身の取り組みの状況と学期の状況を関連付け、多面的に考えることで、よりよい生活に向けて考えることができる。					合唱コンクールや文化発表会を成功させるために、学級や集団としての在り方や、自分の役割を関連付け、より良いものをつくりあげるための、行動目標を考えることができる。		
道徳	道徳開き	家族って？家庭って？		手品師			小さいこと		背番号10		夏季課題			二通の手紙	
思考操作		多面的・多角的に見る		比較する			具体化する		具体化する					多面的・多角的に見る	
質賞・能力		家族や家庭の役割について、家族愛、家庭生活の充実に着目して捉え、家族それぞれの立場から多面的・多角的に考えることを通してより充実した家庭生活を築こうとしている。		子どもとの約束を守り通した手品師について、自主、自律、自由と責任に着目して捉え、約束を守らなかったときのことと比較するなどして、自由と責任を引き受けて生きていこうとしている。			自分への「しつけ」として便所の草履を そろえるという習慣をつづった随筆について、節度、節制に着目して捉え、自分の行動をどのようにしていくか、イメージを具体化するなどして、よい生活習慣を続けていこうとしている。		後輩を無り組えて野球部のキャプテンとしての役割を果たす「僕」について、思いやり、感謝に着目して捉え、思いやりや感謝のイメージを具体化して他者に向き合おうとしている。					規則より自分の思いを優先させたために起こったトラブルについて、遵法精神、公徳心に着目して捉え、規則の必要性を多面的・多角的に考え、規則を守って行動しようとしている。		
音楽		「音楽とは？」		「情景がイメージできる音楽表現とは？」			「物語と音楽」		「いい音とは？」		夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう」			「混声合唱の魅力とは？」	
思考操作		関連付ける		比較する			比較する		比較する		具体化する・抽象化する			関連付ける	
質賞・能力		音楽を形づくっている要素や音楽に関する用語や記号と音楽表現との関わりについて理解し、曲想と、音楽の構造や背景などと関連付けながら、音楽文化について理解することができる。		曲のもつよさや特徴について、リズム・速度、ハーモニーに着目し、曲想や音楽の構造を理解し、それらと歌詞の意味を関連付け、イメージを広げながら歌唱表現をすることができる。			ペペラの歴史や特徴について、オーケストラとアンがを為出す豊かな音楽表現に着目し、ロマンの音楽とその時代の時間について知り、それぞれの時代の音楽表現との違いに気づくとともに、和合音楽としての「オペラ」の魅力について自分の考えをまとめることができる。		曲にふさわしい音色について、音域の高低に着目し、息の吐き方やタンギングの仕方を使い分けながら演奏の工夫することができる。			混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えることで、ハーモニーやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関連付けながら、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫することができる。		曲想や背景などの関わり及び音楽の多様性などの音楽文化や当時の歴史について理解するとともに、曲や演奏に対する批評とその根拠を言葉で表現することができる。
美術		「作者は美術で表に付けたカを どのように活用しているか」（学びの探求と未来）		「15歳の自分を見つめ、今の自分や思いをどのように表すか」（今を生きる私へ）					「美術にはどのような力があるか」（あの日を忘れない）		夏季課題			「社会の中での美術の働きとは」（笑顔が生まれる鉄道デザイン）	「わかりやすく的確に伝えるには」（動きを生かして印象的に）
思考操作		多面的・多角的に見る							関連付ける・構造化する		具体化・抽象化する			関連付ける・構造化する	関連づける・構造化する
質賞・能力				様々な自画像の表現から、自分の生き方と照らし合わせて表現することの意味や創造的な工夫をすることに関心をもち、自分の心の中をみつめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、自己の夢や目標を形や色、材料などによって具体的な形としてつくり出したり組み合わせたりすることで、自分らしさを見つけ、心豊かに表現することができる。					感情やイメージなどを形や色から、どのように感じるかも、形や色、材料、素材、空間などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の形や美意識を想像しながら、作品の形や美意識を想像しながら、		水沢周防出さんの作品を鑑賞し、機能性と調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えることができる。	映像表現ならではの特徴は何かを考え、分かりやすく的確に伝えるという効果と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練り、カメラの特性を生かし、意図に応じて創造的に表すことができる。	作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、造形的な特徴などと作者の意図を生み出し、遠近や錯などの効果を生かして、創造的な構成を工夫することができる。	伝達の際や手の表現がもたらす効果について、形や材料、質感、空間などの造形的なよさや美しさや、作者の感性や美意識を表に取り、表現文化の継承と創造について考えることができる。	
技術		双方向性のあるコンテンツによる問題解決									夏季課題			双方向性のあるコンテンツによる問題解決	
思考操作		多面的・多角的に見る　関連付ける　具体化する												多面的・多角的に見る　関連付ける　具体化する	
質賞・能力		ネットワークを利用したメッセージ交換について、これまで学習した情報の技術の学習と関連付けることで、社会的側面や経済的側面等を含めた問題を見いだし、課題を設定することができる。また、プログラムの試作・試行を通じて設計を具体化し、制作工程表にまとめることができる。												ネットワークを利用したメッセージ交換について、これまで学習した情報の技術の学習と関連付けることで、社会的側面や経済的側面等を含めた身近な不便さの問題を見いだし、課題を設定することができる。また、プログラムの試行・試作を通じて設計を具体化し、制作工程表にまとめることができる。		
家庭		「幼稚園生とのふれあい交流会を成功させるには、どのような計画や準備をすればよいだろうか」－幼稚園生とふれあおう－									夏季課題			「幼稚園生とのふれあい交流会を成功させるには、どのような計画や準備をすればよいだろうか」－幼稚園生とふれあおう－	
思考操作		関連付ける									具体化・抽象化する			関連付ける、多面的・多角的に見る	
質賞・能力		幼児との関わりに関する課題について、協力・協働の視点でインタビュー活動や自分の生活経験と関連付けて、どのように解決できるか構想し、交流会を計画することができる。												幼稚園生とのふれあい交流会について実践したことを多面的・多角的に振り返り、考察したことや改善案をレポートにまとめて表現し、協力・協働の視点で捉えて今後どのように家庭生活を送っていくべきか新たな課題を見いだすことができる。	
保健体育		体つくり	選択球技　ソフトボール・バレーボール			水泳					夏季課題			選択競技　陸上競技・器械運動	
思考操作		比較する	比較する　多面的・多角的に見る			多面的・多角的に見る					具体化・抽象化する			比較する　分類する　多面的・多角的に見る	
質賞・能力		体つくりについて、心と体の関わりに着目して捉え、自分や他人の動きを考察することによって、互いに比較することができる。	ソフトボールやバレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びに着目して捉え、作戦に応じたボール操作や仲間と連携してゲームを展開できるようにすることによって、課題に応じた運動の仕方を自己と相手や、自己チームと相手チームで比較し、多面的・多角的に考察しながら解決することができる。			水泳について、クロールなどの決法に着目して捉え、活動内容を考察することによって、多面的・多角的に見たり、見直したりすることで、よりよい方法を模索しながら修正練習を繰り返すことができる。								陸上競技について、記録の向上、競争することの楽しさに着目して捉え、各種目特有の技能を身に付けることができるようにするために、課題解決の進捗状況を考察することによって、活動内容を比較し、分類することで、よりよい学習方法を模索し、修正練習を繰り返していくことができる。		

月	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
前週／中間／後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週	前週	中週	後週
国語		古典に親しむ「万葉・古今・新古今」		古典に親しむ「おくのほそ道」	詩集を編集する「初恋」「レモン哀歌」「生まれめんかな」		議論の仕方「幸福について」		物語の展開「握手」	義務教育で習った文学作品を比較したり、関連付けたり、抽象化したりして、文学論を書く。		冬季課題	メディア・リテラシー「いつものように新聞が届いたーメディアと東日本大震災」		批評文「観察・分析して論じよう」			３年間の学びを振り返りノートにまとめる。		
思考操作		比較する		比較する	比較する		具体化・抽象化する			比較する　関連付ける　抽象化する		具体化・抽象化する	比較する		比較する			構造化する			
質賞・能力		古語の意味に着目し、和歌や詩まれている情景を具体化し、和歌に表れているものの見方について考えることができる。		それぞれの作者のものの見方・考え方に着目し、それらを比較しながら、「こんなときに読みたい詩集」を編集することができる。	文章と句の組み合わせや表現の特徴に着目し、それらを比較しながら古典の世界に親しむことができる。		議論の仕方に着目し、具体化や抽象化を意識しながら、話合いを通して自分の考えをまとめることができる。		人物の言動や場面に着目し、それらを関連付けながら物語の展開の仕方を捉えることができる。				メディアの特徴に着目し、それぞれの特性を比較することを通して、情報の信頼性について理解を深めることができる。		広告のもっている要素に着目し、それぞれの効果を比較し、助言を踏まえて批評文を書くことができる。			３年間の学びを関連付け、構造化することができる。		
社会		民主政治と私たち			地方自治			私たちの生活と経済				冬季課題	世界平和の実現を目指して								
思考操作		比較する		関連付ける　多面的・多角的に見る			構造化する					具体化・抽象化する	多面的・多角的に見る　推論する								
質賞・能力				地理的分野と関連付けて見出した、防災における地域の課題について、「対立と合意」「効率と公正」「公共の福祉」など複数の視点に着目して捉え、地域住民の目線から防災面の妥当性を多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。			資本主義社会における経済活動について、個人や企業、政府（国及び地方公共団体）が経済において果たす役割を、「効率と公正」「公共の福祉」といった複数の視点に着目して捉え、資本主義社会の経済活動を仕組みを構造化して表現し、現解することができる。			人物の言動や場面に着目し、それらを関連付けながら物語の展開の仕方を捉えることができる。			現代の国際社会が抱える課題について、「国際協調」「持続可能性」「多様性の尊重」「自由と平等」などの複数の視点に着目して捉え、歴史的分野・地理的分野の学びと関連付けて多面的・多角的に考察し、未来の日本社会の構想を推論して表現することができる。								
数学		関数y=ax2			図形と相似			円の性質		冬季課題	三平方の定理			標本調査とデータの活用							
思考操作		具体化・抽象化する　推論する		比較する　関連付ける・構造化する　推論する			分類する			具体化する・抽象化する	関連付ける・構造化する　推論する			比較する　多面的・多角的にみる　推論する							
質賞・能力		車の事故について、速度、停止距離、天候、車両重量などの関係に着目して捉え、理想化しながら考察することによって、速度や天候に応じた安全な車間距離を図・式・表などを用いて筋道を立てて推論することができる。		三角形の相似条件について、合同な図形及び相似な図形の対応する線分の長さや角の大きさの関係に着目して捉え、並列的に比較し、関連付けて考察することによって、三角形の合同条件を適用しながら図・式・言葉などを用いて筋道を立てて推論することができる。			線線と弦のつくる角について、円に内接する三角形の各頂点の角の大きさに着目して図形を動的に捉え、角場合に分類して考察することによって、その共通性を抽象し性質をまとめることができる。			三平方の定理について、直角三角形の各辺の長さと各辺を１辺とした３つの正方形の面積に着目して捉え、関連付けながら考察することによって、それぞれの関係性を帰納的に定理へと導くことができる。			母集団と標本の関係について、平均値や標本の大きさに着目して捉え、実験を通して、範囲、第１四分位数、中央値、第３四分位数など分布のようすを多角的な視点で考察することによって、それぞれの関連性についてその概要を図へまとめることができる。							
理科		「生物どうしのつながりについて」		「自然界を循環する物質」「水溶液とイオン」			「化学変化と電池」		「雨・アルカリとイオン」	「天体の動き」		冬季課題	「月と惑星の運動」		「宇宙の中の地球」	「自然と人間」		「科学技術と人間」	「これからの私たちのくらし」		
思考操作		構造化する		構造化する			構造化する		多面的に見る	構造化する			多面的に見る		構造化する	多面的に見る		多面的に見る	多面的に見る		多面的に見る
質賞・能力		生物どうしのつながりについて、生産者と消費者の共通性と多様性に着目し、有機物が原動する様子を捉え、自然界の生物のつながりで構造化することで、生物の今り合いについて説明できる。		自然界を循環する物質について、生産者と消費者の共通性と多様性に着目し、有機物が原動する様子を捉え、自然界の生物のつながりで構造化することで、生物の今り合いについて説明できる。	水溶液とイオンについて、酸性と中性とアルカリ性の性質に着目して捉え、イオンモデルを用いて説明することで、イオンと電子のあり方について説明できる。		化学変化と電池について、イオンの場所を調べる実験を行い、イオンへのなりやすさと電子とイオンの関係をイオンモデルで実体的に捉え、イオンの変化を構造化し、電気エネルギーを取り出す方法を推論できる。		雨アルカリとイオンについて、酸性と中性とアルカリ性の性質に着目して捉え、イオンモデルを用いて説明することで、イオンと電子のあり方について説明できる。	天体の動きについて、時間と空間的な広がりを関連付けながら、地球の自転と公転、天体の動きと見え方を構造化して説明することができる。		宇宙の中の地球について、宇宙と地球の関係について考えることで、地球の自転と公転、天体の動きと見え方を構造化して説明することができる。	自然環境と環境について、地球と空間的な広がりを関連付けながら、地球の自転と公転、天体の動きと見え方を構造化して説明することができる。	科学技術と人間について、科学技術と人間の関係について考えることで、科学技術の発展について考えることができる。	人類がこれからも生きていくにつれて、今まで使用したことを踏まえ科学技術がどのように変化していくのかを考えることで、これからの科学技術の在り方について考えることができる。		
英語		Unit 4 いざというとき役立つ標識		Unit 5 尊敬する人物についてレポートを書こう			Unit 6 世界の現状を伝えよう			冬季課題	Stage Activity 3 ディベートをしよう										
思考操作		具体化・抽象化する　多面的・多角的に見る		具体化・抽象化する　構造化する			具体化・抽象化する			具体化・抽象化する	具体化・抽象化する　多面的・多角的に見る　比較する　関連付ける・構造化する										
質賞・能力		日本に住む外国人に日本の災害やその急険を伝える標識について説明する場面において、実社会・実生活とのつながりや社会への貢献・参画意識に着目し、情報の重要度を順位付けしながら説明することができる。		クラスの中で自分の憧れている人や尊敬する人について紹介する場面において、対話参加者の役割や共有する情報に着目し、その人の功績やその人に対する思い等を簡潔に分けて整理しながら伝えることができる。			クラスの中で世界を人口100人の村だと仮定して現状を発表する場面において、実社会・実生活とのつながりや社会への貢献・参画意識に着目し、具体的な数値やグラフなどを活用しながら説明し、また自分の思いや感想を伝えることができる。						クラスの中で社会的な話題についてディベートを行う場面において、論題に対して自分やチームの立場に沿った考えや意図を伝えるための方略に着目し、情報を吟味したり、引用したりし、それらの情報を関連付け、構造化したりしながら立論を作成し、聞き手を論理的説得することができる。								
TRAIN (E-Time)										面接練習			面接練習								
TRAIN (B-Time)																					
TRAIN (C-Time)		C-Time⑥ 結果をまとめ、考察し、結論を導く			C-Time⑦ 研究内容を発表する					C-Time⑧ 振り返りをする		冬季課題									
思考操作		多面的・多角的に見る			具体化・抽象化する					関連付ける		具体化・抽象化する									
質賞・能力		調査・実験から得られた情報を、仮説と有機的に結び付け、得られた情報のもつ意味や妥当性などを多面的・多角的に分析し、リサーチクエスチョンに対する答えを導くこと。		これまでの研究内容や研究の意義などを、聞き手や読み手に最も分かりやすく伝えるために、具体化された発表内容を抽象化して一般化したり、発表方法や発表態度を探究したりすること。また、発表に対する質疑応答をすることで、自分の研究の位置づけや意味合いを再認識すること。						１年間の探究活動を振り返り、どのような力がついたか、自己の生き方とどのように関連付けることができたか等をまとめ、次年度の研究に向けて見通しをもつことができる。										
特別活動		「学校行事　文化発表会」「学校行事　合唱コンクール」			「学校行事　卒業研究発表会」			「学級活動　共生社会」		冬季課題	「学級活動　附属中での学びを振り返って」			卒業式の日の最後の学活をプロデュースしよう 卒業後の抱負を語ろう							
思考操作		関連付ける			構造化する			多面的・多角的に見る		具体化する・抽象化する	構造化する			構造化する							
質賞・能力		他のテーマで探究した内容について、調査したデータや自分の考えを構造化することで、卒業研究の発表やレポートをつくりあげることができる。						社会の一員として、誰も取り残されることの社会の実現に向けて、必要なことは何か、自分にできることは何か多面的に考えることができる。			3年間の学びを振り返り、行事や学習活動を関連付けながら、自己の成長と結び付け、３年間の学習を構造化してまとめることで、卒業後の展望を抱くことができる。			3年間を振り返り、卒業に向けて感謝の気持ちを表現できるようにするために、級友の想いを構造化することで、学級活動の内容を考えることができる。							
道徳		私の再出発			ぼくの物語　あなたの物語			冬季課題	足袋の季節				あの日　生まれた命								
思考操作		多面的・多角的に見る			多面的・多角的に見る			具体化する・抽象化する	推論する				推論する								
質賞・能力		78歳から夜間学級で学んだ主人公の作文について、希望と勇気、克己と強い意志に着目して捉え、これまでの自分の経験と関連付けるなどして、自分を高める喜びを実感しようとしている。		人作家の人種差別問題に対するメッセージについて、公正、公平、社会正義に着目して捉え、様々な人々の立場から多面的・多角的に考え、偏見のない社会を築こうとしている。			つり銭をごまかし、それを償うことができなかった主人公の過去について、よりよく生きる喜びに着目して捉え、自分の行動の結果がもたらす影響を推論するなどして、誠実に生きようとしている。			東日本大震災の被災者への支援プロジェクトについて、生命の尊さに着目して捉え、登場人物と同じ立場の人の気持ちを推論するなどして、自他の生命を尊ぶ心情をもとうとしている。										
音楽		「混声合唱の魅力とは？」		「歌物語はいかに日本の伝統音楽として継承されていくのだろう？」	「思いや意図を伝える演奏をするためには？」			「詩から音楽は生まれるのか？」		冬季課題	「『雅楽』は日本の伝統音楽なのか」			「思いが伝わる表現とは？」							
思考操作		関連付ける		関連付ける	多面的・多角的にみる			関連付ける		具体化する・抽象化する	比較する			関連付ける							
質賞・能力		混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えることで、ハーモニーやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関連付けながら、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫することができる。		曲想や背景などの関わり及び音楽の多様性などの音楽文化や当時の歴史について理解するとともに、曲や演奏に対する批評とその根拠を言葉で表現することができる。	発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識や技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を考えるとともに、自分の思いや意図を伝える演奏となるように表現の工夫をすることができる。			詩から感じるイメージについて、言葉の印象に着目し、その印象と音楽を構成する要素（拍子、リズム、テンポなど）、長調や短調、対照などを関連付けながら構成を工夫し、演奏可能な歌唱をつくることができる。			雅楽と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性などの音楽文化について比較する活動を通して理解するとともに、鑑賞に関する知識を活用しながら、曲や演奏に対する評価(批評）とその根拠を言葉で表現することができる。			卒業式歌について、歌詞の内容に着目し、曲の背景や自己のイメージと関連付けながら、混声３部合唱のよさを生かし、思いが伝わる表現を工夫することができる。							
美術		「幸一色の表現から空間や奥行きを感じられるのはなぜだろう？」（水と筆を操る）		「仏像の魅力はどこから感じられるか」（仏像に宿る心）			「抽象作品の魅力とは」（イメージを追い求めて）			冬季課題	「抽象作品の魅力とは」（イメージを追い求めて）										
思考操作		多面的・多角的にみる		多面的・多角的にみる			具体化・抽象化する			具体化する・抽象化する	具体化・抽象化する										
質賞・能力		作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、造形的な特徴などと作者の意図を生み出し、遠近や錯などの効果を生かして、創造的な構成を工夫することができる。		仏像の顔や手の表情がもたらす効果について、形や材料、質感、空間などの造形的なよさや美しさや、作者の感性や美意識を表に取り、美術文化の継承と創造について考えることができる。			抽象的な作品を鑑賞し、文字の形や大さ、全体のバランスから受ける印象を考え、自分を表す印象、分かりやすく的確に伝えるという効果と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練り、創造的に表現することができる。			抽象彫刻の作品を鑑賞し、何かに見立てたり、心情などと関連付けたりしながらイメージで捉えることを理解し、素刻の持ち手を自己の表現もしくは機能性をふまえて、単純化や省略、強調、形や質感などから構想を練り、材料や用具を関連付けながら、創造的に表現することができる。										
技術		夏季課題			双方向性のあるコンテンツによる問題解決			計測・制御による問題解決		冬季課題	計測・制御による問題解決			これからの情報の技術		技術分野の学習を ふり返り、私たちの未来へつなげよう					
思考操作					多面的・多角的に見る　関連付ける　具体化する			多面的・多角的に見る　関連付ける　具体化する			比較する			関連付ける		関連付ける					
質賞・能力					家庭や学校生活における、計測・制御について、これまで学習した情報の技術の学習と関連付けることで、社会的側面や経済的側面等を含めた身近な不便さの問題を見いだし、課題を設定することができる。また、プログラムの試行・試作を通じて設計を具体化し、制作工程表にまとめることができる。						プログラムについて、社会で利用されている制御ロボットと比較することで、ニーズに合った不具合のないプログラムを考え制作する。また、目的が達成できなかった原因や、さらに改善できる点をまとめ、よりよいプログラムに修正することができる。			これからの情報の技術をさらに発展させるために、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用と情報の技術の評価を関連付けて考えることができる。			やたしたちの未来をよりよくするために、技術のこれ・創造及び主体的にかかわる姿勢とを関連付けて考えることができる。		
家庭		夏季課題			「幼稚園生とのふれあい交流会を成功させるには、どのような計画や準備をすればよいだろうか」－幼稚園生とふれあおう－																
思考操作		具体化・抽象化する			関連付ける、多面的・多角的に見る																
質賞・能力					幼稚園生との